

採択拠点の拠点形成概要及び採択理由

【分野名：社会科学】

大 学 名	東京大学	整理番号	I - 4
拠点のプログラム名称	ものづくり経営研究センター		
中核となる専攻等名	経済学研究科企業・市場専攻		
事業推進担当者	(リダー) 藤本 隆宏 外10名		
<p>(拠点形成の概要)</p> <p>本センターは、「統合型ものづくりシステム」を一般的な枠組によって記述・分析し、世界へ知的発信を行いうる最高水準の研究拠点を形成することを主たる使命とする。このために、以下の4つの研究プロジェクトを柱とする。(1) 統合型システムの一般体系化研究：産学共同体制により「統合型システム」の構造と機能に関する知識体系の一般化を行う。(2) アーキテクチャ研究：設計思想(アーキテクチャ)の視点からの産業論や戦略論を確立する。(3) ブランド力・販売力研究：ものづくりの強さを利益に反映させるブランド・マネジメントと販売力に関する比較研究を行う。(4) 産業競争力の国際比較研究：海外の有力研究機関と連携する恒久的な組織を編成し、産業・企業・事業レベルの競争力測定のツール開発とデータ収集・分析を行う。また、若手研究者・専門家育成のため、丸の内サテライト・オフィス、NPO法人(GBRC)、経営特修コース、インターンシップなどを活用する。</p>			
<p>(採択理由)</p> <p>トヨタ生産方式やTQCに代表される日本企業の「総合型ものづくりシステム」を20世紀後半にわが国が世界に向けて発信できた、世界に誇るべき知的資産として捉え、これを一般的な枠組みによって記述・分析し、世界へ発信しようとするもので、極めて野心的な計画である。事業推進担当者の今までの実績からすれば、経営学の分野で存在感の薄かったわが国の研究活動がようやく世界レベルに仲間入りし、高く評価されるし、それだけの力を十分に備えている。加えて、大学全体としての支援、リーダーを初めとする事業推進担当者の意欲ともに十分であり、若手の養成に努めることにより、有力な世界的拠点となることを期待する。</p>			